

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Solana	 Aptos	 POL
中堅	 Algorand	 Pudgy Penguins	 WEMIX
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 7/4

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン 価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#6	 Solana	Layer1	¥11,958,570,090,013	¥22,363.61	3.78倍 (ETH比)	6.85%
#31	 Aptos	Layer1	¥448,045,541,634	¥695.25	26.69倍 (SOL比)	-0.98%
#41	 POL	Layer2	¥286,271,867,961	¥27.37	—	6.16%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+1.61%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

 **とは** TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Solana：SOL（GOOD）

本銘柄は、直近3カ月で4度目の選出となります。

注目ポイント：米国初のステーキングETF上場

7/2 **REX-Osprey社から米国初となるSolanaのステーキング報酬を含むETF「SSK」が上場**。
初日の取引高は2,000万ドルに達し、新規上場ETFの上位1%の実績を記録。同時にMetaMaskが1億人以上のユーザーを抱える中でSolanaをネイティブサポート開始し、イーサリアムユーザーがシームレスにSolanaエコシステムにアクセス可能に。機関投資家がポートフォリオを多様化する際、イーサリアムに次ぐ投資先として規制準拠のアクセス経路を持つSolanaが第一候補となり、「勝者総取り」の状況が生まれる可能性あり。

AIによる相場分析：SOL

4日午前時点で35.00ドル(5,070.45円)前後を小刻みに推移。ここを割ると33.00ドル(4,780.71円)→30.00ドル(4,346.10円)へ下げやすいが、30.00ドル付近は買いが厚い。逆に38.00ドル(5,505.06円)を終値で抜ければ40.00ドル(5,794.80円)や44.00ドル(6,374.28円)まで上値が開ける。25.00ドル(3,621.75円)割れは長期上昇トレンド崩れに要警戒。

Aptos : APT (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：州政府レベルでの技術的検証

6/30 Aptosはワイオミング州のWYSTステーブルコイン・パイロット・プログラムで、10以上のブロックチェーン候補の中から最高スコア（Solanaと同点の32点）を獲得して選定された。これは米国史上初の州政府支援によるステーブルコインとなる。同時に、Move言語上で統一の規格となるFungible Asset (FA)標準へのアップデートが完了し、開発の効率化とセキュリティが大幅に向上しました。中長期的には、政府機関による技術的検証がAptosの信頼性を強力に裏付け、他の政府機関や大企業からの採用が続く可能性が高まる。

AIによる相場分析：APT

4日午前時点で4.76ドル(687.02円)前後を小刻みに推移。足元の売買は膠着気味だが、ここを割ると4.60ドル(663.93円)→4.40ドル(635.06円)へ下げやすいが、4.40ドル付近は買い意欲が強く反発も期待。逆に4.80ドル(692.79円)を終値で超えれば5.00ドル(721.66円)や5.50ドル(793.83円)まで上値が開ける。3.40ドル(490.73円)割れは長期下げ基調加速に要警戒。

POL : POL

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Bhilaiハードフォーク完了

POL(旧：Polygon)が6月末に実施したBhilaiハードフォークにより、処理能力が50%向上、手数料も1円未満を実現した。この技術改善でL2競争において「圧倒的な処理速度と使いやすさ」による差別化を確立。大量決済処理やデジタル資産管理を他チェーンより高速・低コストで実行できるため、StripeやPayPal等の決済大手による採用可能性が高まっている。中長期的には実用的なブロックチェーンインフラとして企業の本格採用が進み、ネットワーク利用増加によるPOLトークンの需要拡大が期待される。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 7/4

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#54	 Algorand	Layer1	¥233,447,873,070	¥27.03	51.23倍 (SOL比)	6.73%
#72	 Pudgy Penguins	Collectibles & NFTs	¥141,021,781,160	¥2.24	—	62.57%
#199	 WEMIX	Gaming	¥26,298,079,014	¥58.11	6.09倍 (VIRTUAL比)	0.47%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+1.61%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Algorand：ALGO

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：xGov本格稼働とWormhole統合

6/30 運営方法の大幅な変更として、今後ネットワークの安全性に貢献した人により多くの報酬が与えられる仕組みに変更された。7/1には、Algorandと他の40以上のブロックチェーン間で暗号資産を簡単に移動できる新機能が追加された。中長期的には、この利便性向上により多くの企業がAlgorandを採用し、ALGOトークンの需要が高まると予想される。特に大手企業が求める「使いやすさ」と「法的安全性」を両立できるため、本格的な企業利用が始まる可能性あり。

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

6/25 PENGUトークンとPudgy Penguins NFTを組み合わせた史上初のNFT連動型ETFが米国証券取引委員会（SEC）に正式申請。承認されればNFTが初めて規制された金融商品として認められる。中長期的には、ETF承認により機関投資家の大規模資金流入が期待され、NFTプロジェクトが「知的財産ビジネス」として評価される新時代の幕開けとなる。成功すれば他の強力IPを持つNFTプロジェクトの追従を促し、NFT-fi市場全体の拡大により、PENGUは先行者利益を享受する可能性あり。

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

7/1 Briocheハードフォークにより、総供給量を5億9,000万WEMIXに永続的に制限し、年間発行量を半減させる大幅なデフレ政策を実施。約4億3,400万WEMIXが財団準備金から焼却され、希少性が大幅に向上しました。同時に新作MMORPG「ROM: Golden Age」の事前登録が好調で、ゲーミングエコシステムの拡大が継続。中長期的には、供給量の永続的な減少とゲーミング収益の増加により、需給バランスが大幅に改善される見込み。韓国取引所からの上場廃止による短期的な逆風はあるが、グローバル展開とデフレモデルの相乗効果により、持続的な価格上昇基盤が構築されている。

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間 のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>